

# 美しい 県土づくりNEWS



## 目次

- 2 「平成 22 年度国の施策等に関する提言」を行いました
- 3 岩手の高速道路ネットワーク化の早期実現を訴える
- 5 34 年の歳月を経て幹線林道「川井・住田線」が全線開通
- 7 「元町川・矢神川災害関連事業」の竣工を記念して植樹会を開催
- 9 広域農道盛岡西部地区が全線開通
- 10 「三鉄健康ウォーキング in 綾里」開催
- 11 地元住民自らの手で道路整備（滝沢村）
- 12 耐震促進運動月間の成果報告
- 13 除雪作業にご協力をお願いします
- 14 第6回 い〜はと〜ぶスタンプラリーを開催

2009 年  
12 月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌 65 号  
平成 21 年 12 月 26 日発行  
編集 県土整備企画室

黄金の國、  
いわて。



## 一般国道 342 号新・祭時大橋の工事が進んでいます！！ ～平成 20 年岩手・宮城内陸地震の早期復旧に向けて～

昨年6月の岩手・宮城内陸地震で崩落した、一関市巖美町の国道 342 号祭時(まつるべ)大橋の新橋の建設が進んでいます。

今年6月に着工した新橋は、橋桁を橋脚 1 本で支えるT字型の構造で、年内に橋脚の工事を完了し、引き続き橋桁の工事に着手して平成 22 年度中の完成を目指しています。今後とも、早期復旧を目指して工事を進めて参りますので、皆様のご理解、ご協力をお願いします。



新・祭時大橋の建設状況

# 「平成22年度国の施策等に関する提言」を行いました！！

～達増知事が高規格幹線道路等の公共事業予算の確保を提言～

県土整備企画室

平成22年度の国（国土交通省）の概算要求では、公共事業予算が今年度の当初予算と比べて**18%減**（事業費ベース）となっており、特に、**道路関係は直轄事業が20%減**となるなど、**大幅な減少**となっています。本県の改築系直轄道路事業費は、今年度の当初予算と比べて**22%～39%減**と単年度で大きな**減少**となっており、県内の**高規格幹線道路等の整備が更に遅れることが懸念**されます。

このため、本県では、平成21年12月18日（金）、民主党の生方幸夫副幹事長、広野ただし副幹事長、国土交通省の馬淵副大臣に対し、『**平成22年度国の施策等に関する提言**』を行いました。

国土交通省関係では、達増知事から、**東北横断自動車道、三陸縦貫自動車道などの高規格幹線道路の整備促進**や、**久慈港の湾口防波堤などの防災施設整備、ダム建設事業の促進**など、**公共事業予算の確保**を求めたほか、日本航空のいわて花巻空港の名古屋線廃止方針を踏まえ、**地方航空ネットワークの維持・充実について国の支援措置を提言**しました。

また、同日、達増知事、県空港利用促進協議会の永野会長、伊藤北上市長、高橋金ヶ崎町長などが、日本航空の縄野副社長に対し、**いわて花巻空港の名古屋線維持を要望**しました。

県としては、今後とも、必要な社会資本整備を着実に促進するため、国や民主党などに対し、提言活動等を行っていきます。

## 平成22年度国の施策等に関する提言（国土交通省関係抜粋）

平成21年12月18日 岩手県

- ◆ 道路整備事業の促進と予算の確保について
  - 1 平成22年度の道路関係予算の確保について
  - 2 高規格幹線道路等の整備促進と予算の確保について
  - 3 地方の道路整備予算の確保について
  - 4 道路事業における総合的な評価の実施について
  - 5 スマートICの制度設計の見直しについて
- ◆ 安全で安心できる県土形成のための
  - 防災施設整備等の促進と予算の確保について
    - 1 直轄河川改修事業等の促進について
    - 2 直轄砂防事業の促進について
    - 3 直轄港湾整備事業の促進について
    - 4 地方の防災施設整備等を推進するための予算の確保について
- ◆ ダム建設事業の促進と予算の確保について
  - 1 直轄ダム建設事業の促進について
  - 2 県営ダム建設事業の推進のための予算の確保について
- ◆ 地方航空ネットワークの維持・充実について
  - 1 地方航空路線の維持・活性化に向けた方策の検討について
  - 2 大阪国際空港における発着枠の運用の緩和について
  - 3 羽田空港発着枠の配分における
    - 国内地方路線の充実・強化への十分な配慮について
  - 4 オープンスカイ政策の推進と地方空港の国際化に対する支援等について

民主党 生方、広野副幹事長への提言



国土交通省 馬淵副大臣への提言



## 岩手の高速道路ネットワーク化の早期実現を訴える！！

東北横断自動車道釜石秋田線、三陸縦貫自動車道、八戸・久慈自動車道、三陸北縦貫道路等整備促進 岩手県総決起大会を開催しました

### 道路建設課

平成 21 年 11 月 21 日（土）釜石市において、岩手県高規格幹線道路整備促進期成同盟会等関連 10 団体が、東北横断自動車道釜石秋田線等の高規格幹線道路の整備促進を求めて、岩手県総決起大会を開催しました。

本大会には、県内はもとより秋田県、宮城県の市町村長など約 1,000 人が集まり、**多くの未整備区間が残されている岩手県内の実情に理解を求め、県民の声として、地方の希望をつなぐ高規格幹線道路等をはじめとする幹線道路ネットワークの整備の必要性をアピールしました。**

### 【大会概要】

#### ○挨拶・祝辞等

主催者を代表して、達増知事が「本県では、高規格道路から生活道路まで体系的な整備が必要であり、新しい県の長期計画に掲げる『希望郷いわて』の実現には、**高規格幹線道路等の着実な整備とそれに必要な道路予算確保が重要**である。県民の熱い思いとともに国などに強く訴えたい」と挨拶しました。

また、開催市を代表して野田武則釜石市長が「**道路は最も身近な社会資本のひとつ**。沿岸住民にとっては、**安全・安心な生活を支える上で、必要不可欠**だ。道路整備の見通しは厳しい状況だが、今後とも力を結集し、全力で取り組みたい。」と挨拶しました。

続いて、来賓の参議院議員工藤堅太郎氏、衆議院議員黄川田徹氏、参議院議員主濱了氏、県議会議長佐々木一榮氏が祝辞を述べ、早期全線開通に向け熱いエールが送られました。



主催者挨拶を述べる達増知事



開催市代表挨拶を述べる野田釜石市長



講演する中村圭介教授

#### ○基調講演

基調講演は、東京大学社会科学研究所の中村圭介教授により「道路が拓く地方の希望」と題して行われました。中村教授は同研究所が釜石で実施した「希望学」の調査に携わり、この経験を踏まえて、「**道路網の整備は外部とのネットワーク構築という物理的条件を与えてくれるもの**。それを利用し情報収集などを積極的に実践することで、**地域の活性化につながる**。」と、地域における道路整備の重要性を説明しました。

#### ○大会決議

釜石ロード女性の会の竹内敦子会長が、**〇ミッシングリンクを解消し早期全線開通 〇道路整備予算の確保 〇地域活力基盤創造交付金の十分な確保 〇道路事業の費用便益分析に救急医療、災害対策、地域振興の要素を加えるなど地域の実情を十分考慮し、総合的な事業評価を**と大会決議案を朗読し、満場一致の拍手で採択されました。



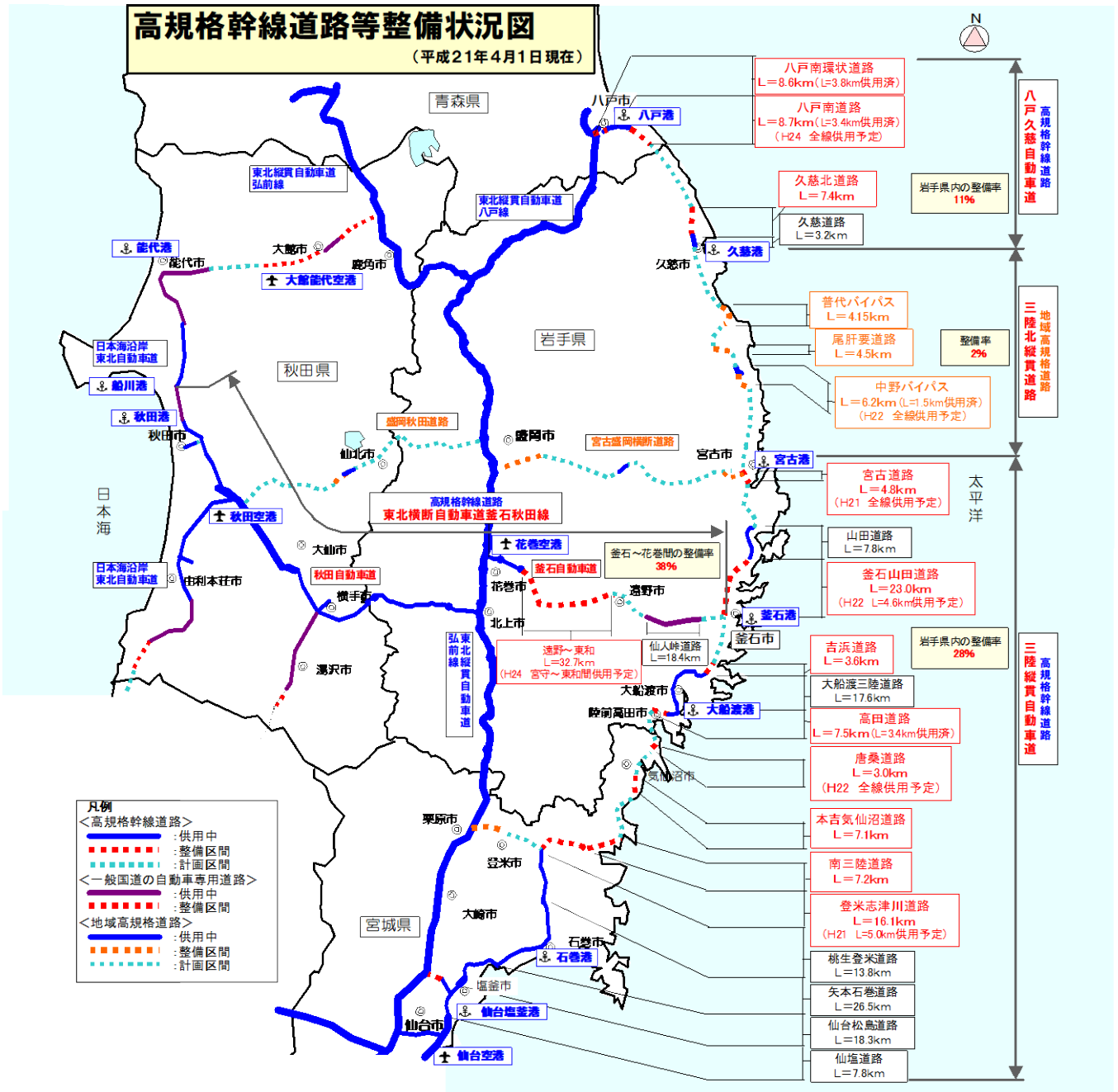
万歳三唱で県民の  
熱い思いをアピール



最後に

- 「地方の希望をつなぐ道路整備（釜石市長）」
- 「命を繋ぐ三陸縦貫自動車道の整備促進（宮古市長）」
- 「真に必要な道の一つ『八戸久慈自動車道の早期全線完成を！』（久慈市長）」

などの沿線市町村長のメッセージを添えて、決議文を来賓の国会議員に手渡し、出席者全員で万歳三唱し、閉会しました。



### 【意見交換会】

大会終了後、意見交換会が開かれ、**県内の改築系直轄道路事業費が22~39%と大幅に減額（平成21年度比）となる見通し**が示されたことから、**沿線市町村長は予算縮減に危機感**を示し、**県選出国会議員**に対して**沿線地域の実情を訴え、医療や防災の観点からも、引き続き道路整備を促進するよう要望**しました。



# 34年の歳月を経て幹線林道『川井・住田線』が全線開通!!

～地域間の交流促進や産業振興に大きな期待～

道路建設課

宮古地方振興局土木部

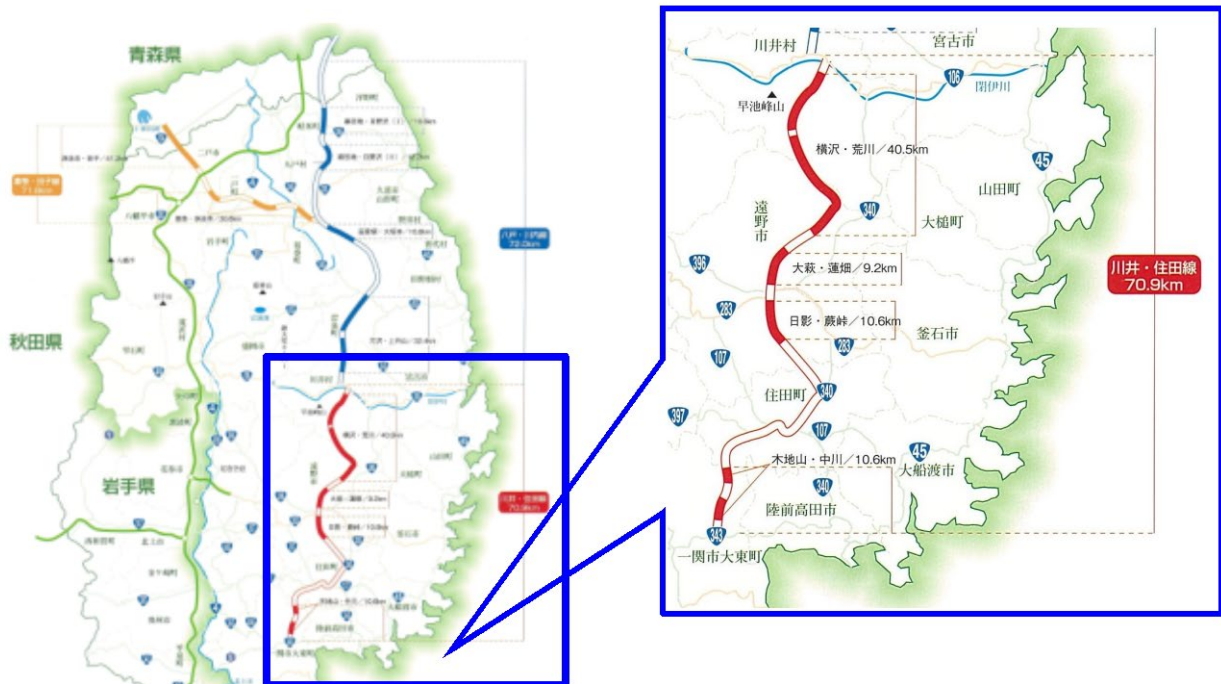
平成21年11月25日、幹線林道『川井・住田線』が全線開通しました。

昭和51年度の事業着工以来、「緑資源幹線林道事業」として旧緑資源機構が整備を進め、平成20年度からは、岩手県が「山のみち地域づくり交付金事業」として実施し、約34年の歳月をかけて全区間L=70.9km（公道利用区間を含めるとL=127.9km）が開通しました。

当日は、現地で開通式典が行われ、県や沿線市町村、用地提供者、施工業者など、多くの方々が幹線林道『川井・住田線』の開通を祝いました。

## 【事業の概要】

幹線林道『川井・住田線』は、川井村鈴久名の国道106号を起点とし、川井村から遠野市を通過し、一関市大東町大原の国道343号に接続する全幅員7.0mの2車線道路です。



延長	70.9km		
幅員	7.0m		
事業費	19,607百万円		
主要構造物	トンネル	1箇所	150.2m
	橋梁	9箇所	217.9m

区間名	町村名	事業期間
横沢・荒川	川井村 遠野市	昭和51年度～平成21年度
大萩・蓬畑	遠野市	昭和61年度～平成5年度
日影・蕨峠	遠野市	平成6年度～平成12年度
木地山・中川	一関市	昭和55年度～平成8年度

## 【事業目的・効果】

豊富な森林地帯において、奥地森林まで健全な手入れを行うことを目的に整備され、

**林業の生産性の向上や間伐等の森林整備の促進**  
**農林畜産物の流通の効率化や地域間交流の促進**

などの多様な効果が期待されます。

## 畜産業の利用(遠野市横沢・荒川区間)



【開通式】

開通式典は、平成21年11月25日の午前10時30分から、川井村鈴久名の林道トンネル『悠久のみち』前で行われました。

開通式典では、安全祈願祭の後、テープカットやくす玉開披のほか、記念碑の除幕が行われ、主催者を代表して緑資源幹線林道川井・住田線開設促進協議会会長の本田敏秋遠野市長が「完成した林道の利活用を通して、地域間の交流と連携を推進し、地域振興へつなげていきたい」とあいさつを述べました。また、達増知事（代読 佐藤県土整備部長）が、「本林道が末永く地域に愛され、その機能が十分に発揮されることを祈念します」と祝辞を述べました。



安全祈願祭



知事祝辞(代読 佐藤県土整備部長)



テープカット



記念碑「希望を拓く道 心をつなぐ路」

【記念碑の言葉に込められた想い】

これからこの道を通る人たちにも、ずっとずっと昔このあたりを歩いていた人たちにも、昔のそして今のタイムグラの人たちにも、みんなに受け容れてもらえるような言葉として、みんなの心と心をつないでいけるような心と心が響きあうような、そんな道になることを願いながら

〈希望を拓く道 心をつなぐ路〉

としました。(揮毫者：内館勝則川井村長)

川井・住田線完成状況(川井村横沢・荒川区間)



『元町川・矢神川災害関連事業』の竣工を記念して植樹会を開催!!

盛岡地方振興局土木部 岩手出張所

県が実施した『元町川河川等災害関連事業』及び『矢神川河川等災害関連事業』が今年度完了したことから、事業の竣工を記念して地元住民の方々と植樹会を開催しました。

併せて、今後の河川管理のあり方等について意見交換会を開催しました。



**【記念植樹会】**



植樹の様子(元町川)

河川等災害関連事業の竣工を記念して、11月21日に元町川、11月28日に矢神川で、地元の方々と協力して川沿いに植樹を行いました。

元町川では改修前に数多く生育していた「オニグルミ」「イタヤカエデ」「ハルニレ」、矢神川では「ベニヤマザクラ」を植樹しました。

今後、これらの木が育ち、改修前のような良好な河畔林、自然景観が形成され、地域にとって愛着のある川に、また、災害の無い安全・安心な川となるように願っています。

**【意見交換会】**

意見交換会では、「これまでの川」「被災時の記憶」「これからの川に対する思い」など、川について地元の方々と自由に意見を交わしながら、川について考えました。

「昔は魚がたくさんいたが、最近はとても少なくなった」「このような災害は初めてで非常に大変だった」といったこれまでの川の記憶や、「改修されてとても安心した」といった意見が出されたほか、「川に降りられる階段が欲しい」「魚がたくさん釣れる川になってほしい」「浅い場所や深い場所があって、楽しく遊べる川になってほしい」などといった意見が出され、川と地域との関わりを聞きながら、これからの川づくりを考える良い機会となりました。



意見交換会の様子(矢神川)

**元町川河川等災害関連事業**

発生年月日：平成18年10月  
 浸水面積：22.8ha  
 浸水戸数：床上33戸、床下72戸  
 改修延長：約4.7km  
 計画流量：40～130m<sup>3</sup>/s  
 事業費：約12億円  
 事業期間：平成18年度～平成20年度

完成後の元町川



**矢神川河川等災害関連事業**

発生年月日：平成19年9月  
 浸水面積：50ha  
 浸水戸数：床上9戸、床下6戸  
 改修延長：約1.0km  
 計画流量：180m<sup>3</sup>/s  
 事業費：約2億円  
 事業期間：平成19年度～平成21年度

完成後の矢神川





# 広域農道盛岡西部地区が全線開通!!

～農産物の広域的な集出荷体制が確立～

盛岡地方振興局土木部

県が整備を進めてた**広域農道整備事業盛岡西部地区**の玉山・盛岡工区 17.9kmが完成し、12月2日、現地にて開通式を行いました。

盛岡西部地区は、盛岡地方の農村環境の改善や流通の効率化を図るため、昭和60年度から工事を進め、矢巾工区 1.5km、雫石工区 0.7km を既に供用し、今回の玉山・盛岡工区の完成により、**全計画区間の約 20km が全線開通**しました。

本地域の農地は、盛岡市街地を囲む形で分布していますが、今回の開通により、本農道を含めた約 104km の環状的基幹農道を利用することが可能となり、盛岡市街地を通ることなく、**円滑な農作物の集出荷が可能**となりました。

環状的基幹農道の沿線には、小岩井農場の一本桜や、岩手山、姫神山が一望できるビューポイントもありますので、本農道で快適なドライブを楽しんでみてはいかがでしょうか。



小岩井農場の一本桜



ライスセンター



りんご集出荷施設



野菜予冷室

# 「三鉄健康ウォーキング in 綾里」開催!!

～三陸鉄道の開業25周年企画で目指せ!綾里川ダム!～

大船渡地方振興局土木部

11月28日(土)、初冬の綾里川ダムをメイン会場に、「三鉄健康ウォーキング in 綾里」が開催されました。

当日は、風が少し強かったものの概ね晴天に恵まれ、宮古や釜石を含む近隣の市町から約60人が参加しました。

イベントは、三陸鉄道各駅(宮古、釜石、盛)から出発し、綾里駅に下車。駅から歩いて、隠れた景勝の「不動滝」をまわり、綾里川ダムに向かうという行程で行われました。

ゴールでは、三鉄社員が鉄道魂を込めて作った「三鉄なべ」や、地元で取れた「ほたて」の炭火焼きが無料で振る舞われ、綾里地区に伝承されている「権現舞」も披露されました。

普段は入る事の出来ないダムの内部を見学!



最後は急勾配の綾里川ダムの管理用階段を登ります!!



ゴールでは重機を使用した「大権現舞」と保育園児による「権現舞」がお出迎え



園児に囲まれる

三鉄のマスコットキャラクター「さんてつくん」



三鉄グッズの販売

「釜石まな」と「久慈ありす」の手拭も!



## 地元住民自らの手で道路整備（滝沢村）

～「みちなおし支援事業」で地域住民と協働で道路整備を進めています～

盛岡地方振興局土木部

滝沢村では、地域住民と協働で道路整備を進める「みちなおし支援事業」が実施されています。「みちなおし支援事業」は、滝沢村が資材を提供し、住民が自らの手で道路を整備するもので、官民一体となって道路の整備、維持管理を行うことで地元住民の皆さんに道路の重要性を認識していただくとともに、住民と協働で生活環境の向上を図り、魅力のある地域づくりを行うことを目的とした事業です。

今回は、滝沢村の鵜飼地区にある村道八人打線の未舗装部分、約67m区間を、地元の鵜飼西自治会（武蔵徳夫会長）の皆さんが、自分たちの手で舗装工事を行いました。「みちなおし支援事業」としては、昨年度に続いて3例目の村道整備となります。

滝沢村では、今後とも、生活に密着した村道等の整備や維持管理について、住民との連携を図って行きたいとのことです。

### 工事着手前



### みんなで朝のミーティング



### 碎石を敷き均し



### 完成しました！！

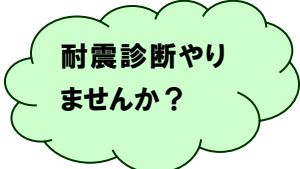


# 耐震促進運動月間の成果報告

～耐震対策の必要性をアピール～

建築住宅課

県、市町村及び建築関係団体では、毎年10月を『耐震促進運動月間』と定め、住宅・建築物の耐震化の促進に向けた取組を行っています。  
今年度の取組の成果は、次のとおりです。



## 戸別訪問形式により木造住宅の耐震対策をPR!

県・市町村・(社)岩手県建築士会が共同で、実際に住宅を戸別に訪問し、耐震診断・耐震改修の実施を呼びかけました。

- ・戸別訪問を実施した市町村：16市町村
- ・戸別訪問戸数：1,097戸

この結果、**51戸の耐震診断の申込**がありました。



## 町内会等に耐震対策の必要性を説明!

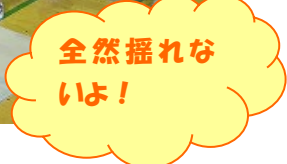
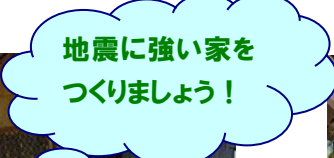
木造住宅の耐震対策の必要性や各種補助制度を広く紹介するために、町内会等の会合の場をお借りして市町村職員が説明を行いました。

- ・開催市町村：8市町村
- ・開催 地区：12地区

## 小中高校生を対象として出前講座を開催!

次代を担う子供たちへの防災意識の継承を目的として、地震に強い住宅にするにはどうしたらいいか、簡易耐震診断や模型を用いた実習を行いました。

- ・実施学校：7校（小学校3校・中学校3校・高校1校）





道路環境課

県では、冬期間の安全で円滑な道路交通を確保するため、  
 県が管理している道路の除雪作業を行っています。  
 作業をスムーズに行えるよう、皆さまのご協力をお願いいたします。 撮影：H17 西和賀町

### 間口除雪にご協力を

各商店・各家庭から道路へ出る間口に寄せられた雪の除雪については、各家庭・ご近所等でご協力をお願いいたします。

### 道路への雪だしはやめましょう

道路への雪だしは、**路面凍結**の原因となるほか、路面が凸凹になり非常に危険で、**交通事故**や**渋滞**の原因にもなります。

### 路上駐車はやめましょう

路上駐車は、**除雪作業の妨げ**となります。また、**車の乗り入れ板**や**看板等**も障害物となり、危険です。



### 深夜・早朝作業にご理解を

除雪作業は、朝の通勤・通学に間に合うよう、主に交通量の少ない夜間や早朝に行います。作業中は騒音・振動等でご迷惑をおかけしますが、ご理解くださるようお願いいたします。

## 除雪車に注意!!

- 除雪作業は安全第一で行っていますが、**作業中の除雪車は大変危険**です。近づかないでください。
- 除雪車は場合によって、道路のセンターラインを越えて作業をすることがあります。車等で走行する際もご注意ください。

## 路面凍結に注意!!

- 路面凍結により通行に支障がある場合又は支障になると予想される場合に、凍結抑制剤を散布しておりますが、**気象条件等により路面が凍結している場合がありますので、通行の際は、十分に注意してください。**

＜お問い合わせ先＞  
 各振興局土木部 又は 県庁道路環境課  
 電話 019-629-5878

岩手県道路情報提供サービス  
 ホームページ  
 URL : <http://www.douro.com/>

# 第6回 い〜はと〜ぶスタンプラリーを開催

～冬期における「道の駅」の利用促進を目指して～

道路環境課



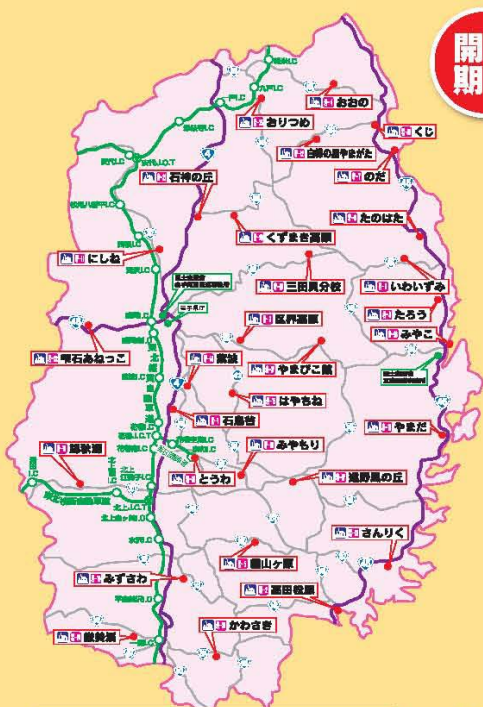
～冬のいわて路をエンジョイしよう!!～

第6回 岩手「道の駅」

# い〜はと〜ぶスタンプラリー

開催期間 (平成21年) '09.12.1 ~ (平成22年) '10.4.11

岩手県内の「道の駅」で、応募ハガキにスタンプを集めて応募すると、抽選で県内産品のステキな賞品が当たります。



スタンプを置いてある場所

### いわって大賞

スタンプ3駅以上を集めて応募された方全てが対象



6名様

### つめちゃったで賞

スタンプ20駅以上を集めた応募者を対象



10名様

### アイドリンク賞

スタンプ10駅以上を集めた応募者を対象



30名様

### 馬かったで賞

スタンプ5駅以上を集めた応募者を対象



60名様

### 応募要項

岩手県内の「道の駅」に置かれている応募ハガキ(お1人様1枚)に各「道の駅」のスタンプを捺印し、郵便番号、住所、氏名、電話番号等の必要事項を記入の上、切手を貼って応募して下さい。  
なお、当選の発表は商品の発送をもってかえさせていただきますのでご了承下さい。

◆注意事項◆  
スタンプは併設されている施設の営業時間外には捺印できません。また、必要事項の未記入や2枚以上の応募の場合、その応募が無効と取り返すのでご注意ください。

※個人業務の取扱いについて  
応募していただいたハガキを郵送された個人情報は当課の業務に限り利用させていただきます。個人業務の取扱いについてはお問い合わせください。

主催：岩手県「道の駅」連絡会

岩手河川国道事務所 調査第二課(直通)  
三陸国道事務所 交通対策課(直通)  
岩手県県土整備部 道路環境課(直通)

☎019-624-3196  
☎0193-71-1718  
☎019-629-5880

又は、各道の駅まで。